

**Health Innovation Seminar**  
**「自治体発ヘルスイノベーションの実現」**  
**－日米における新たな潮流－**

日時：2019年9月18日(水) 15:00～17:00

場所：日本橋ライフサイエンスビルディング2階201会議室

言語：英語（日米同時通訳あり）

主催：神奈川県立保健福祉大学イノベーション政策研究センター

共催：神奈川県立保健福祉大学ヘルスイノベーション研究科

協賛：一般社団法人ライフサイエンス・イノベーション・ネットワーク・ジャパン(LINK-J)

対象：製薬・医療機器メーカー、ヘルスケア関連企業、大学・研究機関、行政機関等

定員：60名程度（要事前申込み：<https://forms.gle/iTrbKA8emjDHpWUN7>）

**【開催概要】**

神奈川県立保健福祉大学イノベーション政策研究センターと Duke Margolis Center for Health Policy は、2019年9月に保健医療や健康分野におけるイノベーションについて、研究や事業運営面で相互に協働していくことを目的とした覚書を締結する運びとなりました。今回のセミナーは、この覚書の締結を記念して開催するものです。

「未病」の改善に向けた神奈川県の取り組みに代表されるように、医療やヘルスケアにおけるイノベーションの推進は今や国のみならず都道府県や市区町村といった地方自治体が重要なキープレイヤーとなりつつあります。今では、多くの自治体が中央政府の推進する医療政策や福祉政策あるいは研究開発政策や産業振興と協調しつつも、独自に産学官の共創を試みる事例がみられるようになりました。人々の暮らしや生き方により近い立場にある地方自治体が主体であるからこそ実現できる新たな価値や可能性（uniqueness）が模索されているといえます。

一方、国外に目を転じてみれば、こうした地方自治体からのヘルスケアに対する挑戦は必ずしも珍しいものではありません。本セミナーでは、ローカル・ガバナンスにおけるヘルスイノベーションをテーマに、Duke Margolis Center for Health Policy から元FDA長官の Mark McClellan センター長・教授をお招きし、米国におけるヘルスケア政策の動向を Duke Margolis Center for Health Policy の取り組みとともにご紹介いただきます。また、本学において顧問を務められる近藤達也氏（Medical Excellence JAPAN 理事長、前 PMDA 理事長）にご登壇いただき、日本におけるこれまでの規制改革の取り組みについて振り返っていただくとともに、日本からの国際展開に向けた今後の展望についてお話いただきます。最後のパネルディスカッションでは、本学の大谷泰夫理事長を交え、ヘルスイノベーションを推進するうえで地方自治体が果たすべき役割と可能性について議論します。

産学官の共創による技術革新の実現や様々な資源の効果的な活用、新たな施策実施を通じて、あらゆる人々が自分らしく暮らすことができる社会を実現することは、少子高齢化の加速する日米両国において文字通り共通の課題といえます。今回のセミナーを通じて、日米におけるヘルスケア分野の最新の取り組みや自治体発の取り組みについての知見を産学官で共有することで、日米双方で健康長寿社会と経済成長を地方自治体から実現していく道を模索する端緒となればと思います。

【プログラム】※登壇者および講演内容は変更となる可能性がございます

プログラム案		
15:00	開会挨拶	大谷 泰夫 神奈川県立保健福祉大学 理事長
	協賛者紹介	一般社団法人ライフサイエンス・イノベーション・ネットワーク・ジャパン (LINK-J)
15:10	センターの紹介/ 講演者紹介	坂巻 弘之 神奈川県立保健福祉大学イノベーション政策研究センター センター長・教授
15:20	講演①	Mark McClellan, MD, PhD 「米国におけるヘルスケア政策の動向と Duke Margolis Center for Health Policy の取り組み」
15:40	講演②	近藤 達也 神奈川県立保健福祉大学・顧問、一般社団法人 Medical Excellence JAPAN (MEJ) 理事長、独立行政法人医薬品医療機器総合機構 (PMDA) 名誉理事長 「日本における規制改革の取り組みと国際展開」
16:00	パネルディスカッション:	「米国と日本が直面する共通の課題とその克服に向けた連携の方策」
	モデレーター	坂巻 弘之
	パネリスト	Mark McClellan, MD, PhD 近藤 達也 大谷 泰夫 昌子 久仁子 神奈川県立保健福祉大学ヘルスイノベーション研究科 教授
16:50	Q&A	
16:55	閉会挨拶	坂巻 弘之
17:00	閉会	